

登壇者紹介(登壇順)

パネルディスカッション

奥田 青州 (おくだ せいしゅう)

環境省 自然環境局 自然環境計画課 地域ネイチャーポジティブ推進室 室長

三重県出身。2005年環境省入省。釧路や屋久島、2010年の生物多様性条約 COP10 対応、東日本大震災からの復興(復興庁)、生物多様性条約事務局(カナダ・モントリオール)での生物多様性日本基金管理、2017年の名古屋議定書の締結(外務省)、希少種保全、「生物多様性国家戦略 2023-2030」の策定、サステナブルツーリズムの推進(観光庁)等の業務を経て昨年7月から現職。30by30 や自然共生サイトを担当。

藤野 貴司 (ふじの たかし)

川崎市 建設緑政局 総務部 みどりの将来像推進担当 担当部長

市制 100 周年の象徴的事業である「全国都市緑化かわさきフェア」の開催後に、地球環境に関する世界的な潮流や気候変動などの社会環境の変化に対して、これまで以上に高い意識を持って、目標とすべき「みどりの将来像」を 2026 (令和 8) 年 3 月に策定。同年 4 月に新設された現所属において、将来像の実現に向けて総合的に取組を発展させていく仕組みづくりや普及啓発・情報発信などの取組を推進。

吉武 美保子 (よしたけ みほこ)

NPO 法人よこはま里山研究所(NORA) 理事/NPO 法人新治里山「わ」を広げる会 理事/新治里山公園・にいほる里山交流センター センター長

「里山とかかわる暮らし」をキーワードに横浜を中心に活動。寺家ふるさと村四季の家、(株)自然教育研究センターを経て、NPO 法人よこはま里山研究所 (NORA) を設立。長年、森づくりのボランティア活動や地産地消に関するプログラムの企画運営に携わる。NPO 法人新治里山「わ」を広げる会では 2009 年より新治里山公園・にいほる里山交流センター (横浜市緑区) の指定管理をつとめる。

千葉 美佐子 (ちば みさこ)

新川崎ふれあい公園管理運営協議会 会長/NPO 法人幸まちづくり研究会 理事長

川崎市幸区において、市民・行政・企業等との協働で地域の環境を改善する非営利活動に長年取り組む。都市で失われた農的環境を取り戻し、分断されたコミュニティを市民主体で再構築しようと、「農」あるまちづくりや“コミュニティガーデン(地域の庭)の運営にもたずさわる。2008 年からは市民参加による「どんぐりからの苗木の育成」を開始。それらの苗木を活用して、新川崎ふれあい公園内の「体験の森」の創成・育成に取り組み、現在に至る。

倉田 薫子 (くらた かおるこ)

横浜国立大学 教育学部 /総合学術高等研究院 教授/博士(人間・環境学)

専門は、植物系統分類、植物地理、生物多様性保全、環境教育。2022 年より横浜国立大学「里山 ESD 研究拠点」を主宰し、生物文化多様性に関する研究を進めている。2025 年からは現職教員向けの「生物多様性教育を考える勉強会」を立ち上げ、学校現場における生物多様性教育の普及に尽力する。著書には『100 万人のフィールドワーカーシリーズ第 13 巻フィールドノート古今東西』(共著、古今書院)、『未来につなげる ESD: 持続可能な社会を里山から考える』(編著、大修館書店)などがある。

オープニングセッション／パネルディスカッション

齊藤 修 (さいとう おさむ)

IGES 生物多様性と生態系サービスユニット プログラムディレクター／東京大学未来ビジョン研究センター
客員教授／博士(農学)

1969年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、米国タフツ大学大学院都市・環境政策研究科修士課程を修了。1994年から6年間、環境計画系コンサルティング会社にて国や地方自治体の数多くの環境計画づくりとそのための調査研究に従事。2004年東京農工大学大学院連合農学研究科から博士(農学)学位を取得。その後、大阪大学大学院工学研究科(2004-2007年)、早稲田大学高等研究所(2007-2010年)、国連大学サステナビリティ高等研究所(2011-2019年)にて研究教育に従事。2020年から現職。2011年から[国際学術誌 Sustainability Science](#)の編集幹事。東京大学未来ビジョン研究センター・客員教授を兼務。

矢ヶ崎 朋樹 (やがさき ともき)

IGES 国際生態学センター 上級主幹研究員／横浜国立大学総合学術高等研究院 客員教授／博士(環境学)

日本や海外(ラオスなど)の都市・農村部を対象に、森林保全や荒地地植生回復、緑地の便益評価、環境教育などをテーマとした調査・研究を進めている。人と自然がともに育つ「共育」の視座のもと、子どもの自然体験の創出やその声の可視化、都市におけるみどりの量・質・公平性の統合的再編に取り組む。地域や国際パートナーと協働し、ネイチャーポジティブの実現と知の共創(協働科学)を志向している。著書には『環境を守る森をつくる』(共著、海青社)などがある。

総合司会

川上 毅(かわかみ つよし)

IGES 事務局長

埼玉県出身。1989年環境庁(現環境省)入庁。総合環境政策局調査企画室長、同環境経済政策調査室長、地球環境局市場メカニズム室長、自然環境局総務課長、環境保健部環境保健企画管理課長などを歴任。循環型社会形成推進基本法の制定等に携わる。この間、OECD環境局管理官、滋賀県自然環境保全課長、上智大学大学院地球環境学研究科教授、中間貯蔵・環境安全事業株式会社管理部長、独立行政法人環境再生保全機構理事(環境研究総合推進等担当)など。2026年2月よりIGESプリンシパルアドバイザー、2026年4月より現職。

モデレーター

石川 智子 (いしかわ ともこ)

IGES 戦略マネジメントオフィス パートナーシップ・発展支援ディレクター

1999年IGESに入所。国際的なハイレベル会合の企画・運営や研究戦略の立案を支援。2011年より、[気候中立社会実現のための戦略研究ネットワーク\(LCS-RNet\)](#)、[低炭素アジア研究ネットワーク\(LoCARNet\)](#)事務局長、アジア太平洋統合評価モデル(AIM)プロジェクトのIGESでのコンタクトポイントを務める。欧州・アジアでの脱炭素政策形成支援、科学・政策対話、知見共有を推進。気候市民会議の日本への紹介や杉並区での実装にも関与。2017年より戦略マネジメントオフィス所属。社会科学修士。